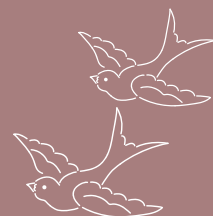


介護職員技術向上講習会 ご案内 (開催要項・カリキュラム)

介護技術の向上を目指して



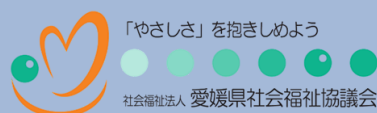
介護職員として
活躍したい



リーダーとして
活躍したい



講習会等で指導者
として活躍したい



愛媛県社会福祉協議会



目次



STEP
1

基礎コース……………P1～8

事業所内で介護職員として活躍



利用者・介助者の双方にとって安心・安全な介護を技術を学ぶ入門編。



STEP
2

実践コース……………P9～16

事業所内でリーダーとして活躍



根拠に基づいた体系的な介護技術を学び、次のステップとして応用力を習得する実践編。



STEP
3

指導者コース・検定……………P17～19

(介護員養成研修等指導員講習会)
事業所内で指導者として活躍

基礎・実践コースで学んだ知識や技術を生かし、介護技術の普及を目的として学びを深める指導者編。

令和8年度より、愛媛県社会福祉協議会の「介護職員技術向上講習会」がリニューアルします。根拠に基づいた介護技術を基礎から実践・応用まで段階的に学べる体系的な講習会として「基礎コース・実践コース・指導者コース」の3講習を開講します。介護職員として確実にステップアップできるようカリキュラムを校正しており、特に実践コースでは、基礎で得た知識をもとに、現場で活かせる技術を習得できます。

※詳細は、各開催要項・カリキュラム等をご覧ください。



令和8年度 介護職員技術向上講習会 [基礎コース] 開催要項

テーマ「利用者の安心・安全な生活を支える根拠に基づく介護技術の基礎」

今年度から、より体系的及び段階的に介護技術の習得を図るため、本講習会をリニューアルし、基礎コース、実践コース、指導者コースの3講習を実施することになりました。知識や技術を深めるだけでなく、介護職員としてステップアップできる機会となるようカリキュラムを組んでいます。その第一段階の基礎コースとなっています。詳しくは別添資料をご覧ください。

1 目的

本講習会は、介護職員が利用者の安心できる日常生活を支えるために必要な、理論と実践の両面から根拠に基づいた介護技術を身に付け、利用者・介護者双方にとって安心・安全で負担の少ない介護を実現するために、基礎的な知識と技術を学ぶことを目的として実施するものです。

2 主催

愛媛県社会福祉協議会

3 開催期日

受講回	内容	期日	講習時間
第1回	移動の支援技術①	6月23日(火)	各5時間
第2回	移動の支援技術②	6月24日(水)	
第3回	睡眠・身じたくの支援技術	7月6日(月)	
第4回	食事・口腔ケアの支援技術	7月7日(火)	
第5回	清潔保持の支援技術	7月14日(火)	
第6回	排泄の支援技術	7月15日(水)	

4 日程・内容

「基礎コース」では、介護職員として身につけておくべき「姿勢と動きの理解」や、「生活支援技術」の概説を学びます。基礎技術の振り返りと習得を目的とし、全6回を通じて段階的に取り組むシリーズ構成となっています。として行います。

※詳細は、別添「カリキュラム」を参照。

5 会場

愛媛県総合社会福祉会館 3階「研修室」(松山市持田町三丁目8番15号)

6 受講対象

老人福祉施設・介護老人保健施設・訪問介護事業所・グループホーム等の職員で、介護の知識や技術を体系的に学びたい方、または介護技術の基礎技術の振り返りを行いたい方

※経験年数・職種は問いません。介護職員・介護福祉士・看護師・理学療法士・作業療法士など、どなたでも受講できます。

7 定員

各回32名(先着順)

※定員になり次第、受付終了。詳しくは愛媛県社会福祉協議会ホームページでご確認ください。

8 受講料

27,000円(消費税込)

※全6回分を一括払いとし、入金後の返金は一切できません。

9 テキスト

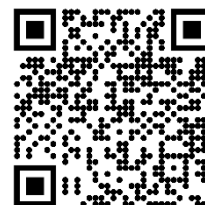
1冊1,500円(消費税込)

※本研修では「介護実技指導の手引 ～利用者のための生活支援技術～(令和2年3月改訂)」(発行:愛媛県社会福祉協議会/編集:愛媛県介護実習・普及センター)を使用し、教本に基づいた内容で学習を進めます。お持ちでない方は、ご購入いただくとより理解しやすくなりますので、参加申込みとあわせて購入ください。(既にお持ちの方は新たに購入する必要はありません)。購入されたテキストは、講習会当日にお渡しします。なお、平成28年5月改訂版でも受講は可能ですが、内容がより整理された最新版への買い換えを推奨します。

10 申込方法

スマートフォンからは、右のQRコードを読み込んで、申込みをしてください。
パソコンからは、本会ホームページから申込みをしてください。申込みには、メールアドレスの登録が必要です。

【申込みフォーム】



11 申込締切

令和8年5月22日(金)【先着順】

12 受講決定通知

令和8年5月29日(金) ※郵送にて発送予定

13 受講料等の振込み

- (1) 受講決定通知に同封する振込依頼票をご利用の上、令和8年6月19日(金)までに受講料をお振込みください。同依頼票を利用して県内伊予銀行窓口からお振込みいただくと、手数料はかかりません。
- (2) ATMから振込まれる場合は、処理の都合上、必ず振込依頼票に記載された「振込番号+氏名」でお振込みください。
- (3) 受講をキャンセルされる場合は、令和8年6月19日(金)までに下記問合せ先にご連絡ください。期日までに入金を確認できない場合、キャンセルとみなして申込みを取消すことがありますので、ご注意ください。
- (4) 一旦入金された受講料の返金はできません。あらかじめご了承ください。

14 昼 食

各自でご用意ください。会場の喫茶店での事前注文も可能です。受講決定時にご案内します。

15 感染症等拡大防止策について

本講習会は、重症化リスクの高い高齢者と接する機会が多い受講者が多数参加しますので、ご自身の体調管理を含めて、感染症対策にご協力をお願いします。

16 その他

- (1) 本講習会は実技講習ですので、当日はジャージ等の動きやすい服装・靴(ジーンズ・サンダル不可)で、必ず靴下を着用してお越しください。
- (2) 全日程を受講された方には、愛媛県社会福祉協議会長名の修了証を交付します。ただし、この修了証は、任用資格等につながる「公的証明書」ではありません。
- (3) 愛媛県総合社会福祉会館地下駐車場は朝8時から利用できます。8時前に来られた方は、東側・南側駐車場を利用してください。同駐車場を利用する場合は、近隣住民の迷惑となるため、駐車場内でのアイドリングは絶対におやめください。
- (4) 通勤・通学・通行の妨げになりますので、愛媛県総合社会福祉会館正面玄関及び地下駐車場出入口付近、周辺道路への駐停車は厳禁です。地下及び東側・南側駐車場が満車の場合は、近隣の有料駐車場をご利用ください。
- (5) 会場の駐車場には限りがありますので、できるかぎり公共交通機関をご利用ください。

17 個人情報の取扱いについて

受講申込書にご記入いただいた個人情報は、本講習会の運営目的にのみ利用し、講習会の受講者名簿に、氏名・所属・職名を掲載します。

19 問合せ・申込み

愛媛県社会福祉協議会 福祉人材部 長寿推進課 (担当:野口・河野・渡邊)
〒790-8553 松山市持田町三丁目8番15号
TEL 089-921-5140 / FAX 089-921-3398
Eメール chouju@ehime-shakyo.or.jp

令和8年度 介護職員技術向上講習会〔基礎コース〕 カリキュラム

第1回「移動の支援技術①」

6月23日（火）

人の24時間の生活は、姿勢と動きの繋がりによって成り立っており、その積み重ねが日常生活を形づくっています。「移動の支援技術」では、トータルセーフティケアの重要性を理解し、姿勢の見方と支え方の基本を学びます。

時間	内容	講師
9:30~10:00	受付	<介護実技普及指導員> 成川 ゆかり 氏 山村 千代美 氏 浅田 栄次 氏 坂本 絵美 氏 ※実技演習は、受講生を数班に分けて、各項目の技術点検と実技指導を行います。 （講習時間：5時間）
10:00~10:10	開会 オリエンテーション	
10:10~10:15	講習会の目的、介護の仕事について	
10:15~10:45	グループディスカッション ○自己紹介、ポジショニングについて意識していること、疑問に思っていること	
10:45~12:30	講義・デモンストレーション・演習 ○介護者としての体の触れ方と動き ・コミュニケーションとアセスメントの重要性 ・身体の使い方と触れ方等 ○トータルセーフティケアの重要性の理解 ・姿勢の見方を理解する ・姿勢の整え方(ポジショニング)	
12:30~13:20	昼食休憩	
13:20~15:50	講義・デモンストレーション・演習 ○姿勢の整え方(ポジショニング)	
15:50~16:00	グループディスカッション 質疑応答・講習の振り返り	
16:00~16:10	閉会	

1. 受講者数によっては講師の人数を変更する場合があります。

2. 講義の時間割等に変更が生じる場合があります。

以上の点につきまして、あらかじめご了承ください。

令和8年度 介護職員技術向上講習会（基礎コース） カリキュラム

第2回「移動の支援技術②」

6月24日（水）

人の自然な動きを理解し、自立支援につながる移動の支援技術を身に付けます。また、利用者の状態に応じて適切な福祉用具を活用できる力を養います。これにより、介護者、利用者双方の安全安心な移動支援の実践を目指します。

時間	内容	講師
9:30~10:00	受付	<介護実技普及指導員> 成川 ゆかり 氏 山村 千代美 氏 菅野 英明 氏 浅田 栄次 氏 ※実技演習は、受講生を数班に分けて、各項目の技術点検と実技指導を行います。 （講習時間：5時間）
10:00~10:10	開会 オリエンテーション	
10:10~10:40	<u>グループディスカッション</u> ○起居動作、移乗・移動について意識していること、疑問に思っていること	
10:40~12:30	<u>講義・デモンストレーション・演習</u> ○ヒトの自然な動きを理解し、個々の自立支援に向けた介助や、動き難い身体を作らない介助を理解する ○起居動作(寝返り・起き上がり) 立ち上がりの支援技術	
12:30~13:20	昼食休憩	
13:20~15:50	<u>講義・デモンストレーション・演習</u> ○アセスメントの必要性とそのポイント ○移動の支援技術(福祉用具の使用含む) ・杖歩行、車いすの支援技術 ・移乗動作の支援技術(車椅子⇄ベッド) ・ベッド上での移動の支援技術	
15:50~16:00	<u>グループディスカッション</u> 質疑応答・講習の振り返り	
16:00~16:10	閉会	

1. 受講者数によっては講師の人数を変更する場合があります。
2. 講義の時間割等に変更が生じる場合があります。

第3回「睡眠・身じたくの支援技術」

7月6日（月）

睡眠が人の生活に及ぼす影響について学び、睡眠の環境づくりの技術として利用者が快適に睡眠や休息をとることのできるベッドメイキングの技術を身に付けます。質の高い睡眠を支援することにより、心身ともに健康的に生活することができるための支援技術の習得を目指します。

時間	内容	講師
9:30~10:00	受付	<介護実技普及指導員> 西村美雪氏 田中加代氏 高村幸子氏 浅田栄次氏 ※実技演習は、受講生を数班に分けて、各項目の技術点検と実技指導を行います。 （講習時間：5時間）
10:00~10:10	開会 オリエンテーション	
10:10~10:40	<u>グループディスカッション</u> ○睡眠・身じたくの技術に関するテーマで実施	
10:40~12:30	<u>講義「睡眠」・デモンストレーション・演習</u> ○睡眠支援のための姿勢の理解 ・「眠る」しくみについての理解 ○寝具の取り扱いと整え方 ・清潔に配慮し寝具を正しく理解して取り扱うことができる技術 ・2人で行うベッドメイキング ・ベッドに臥床している場合のベッドメイキング ○睡眠に関するアセスメントの視点と留意点	
	<u>講義「身じたく」・デモンストレーション・演習</u> ○身じたくに関する意義を理解し利用者の状態に応じた支援技術を行う ・身体状況に応じた着脱の方法	
12:30~13:20	昼食休憩	
13:20~15:50	<u>講義「身じたく」・デモンストレーション・演習</u> ○身じたくに関する意義を理解し利用者の状態に応じた支援技術を行う ・座位での衣服着脱 ・臥位での衣服着脱 ○身じたくに関するアセスメントの視点と留意点	
15:50~16:00	<u>グループディスカッション</u> 質疑応答・講習の振り返り	
16:00~16:10	閉会	

1. 受講者数によっては講師の人数を変更する場合があります。
2. 講義の時間割等に変更が生じる場合があります。

令和8年度 介護職員技術向上講習会（基礎コース） カリキュラム

第4回「食事・口腔ケアの支援技術」

7月7日（火）

個人の嗜好性が高く、生活の満足度に大きな影響を与える食事支援において、利用者の参加や主体性に配慮する必要がある。利用者の健康維持、生活の中での楽しみを支える支援。安全でおいしく食べることのできる的確な技術を習得することで、生きる喜びを利用者が感じることが出来る技術を目指します。

時間	内容	講師
9:30~10:00	受付	介護実技普及指導員 永井昌江氏 森川剛氏 塚野謙治氏 鎌倉銀平氏 ※実技演習は、受講生を数班に分けて、各項目の技術点検と実技指導を行います。 （講習時間：5時間）
10:00~10:10	開会 オリエンテーション	
10:10~10:40	<u>グループディスカッション</u> ○食事支援で気をつけていることは	
10:40~11:40	<u>講義「食事」</u> ○食事に関連したところとからだのしくみ ・食事支援のための姿勢の理解 ・「食べる」しくみと体験 ○食事支援に関するアセスメントの視点と留意点	
11:40~12:30	○座位姿勢での食事支援と適切な食具を使用 ・姿勢の作り方 ・様々な食具の理解と使い方	
12:30~13:20	昼食休憩	
13:20~14:20	○ <u>臥位姿勢での食事支援(全介助)</u>	
14:20~15:50	<u>講義・口腔ケアの支援技術演習・デモンストレーション</u> ○口腔ケアに関連したところとからだのしくみの理解 ・口腔機能の変化 ・唾液の役割 ・誤嚥予防について ○口腔ケアに関するアセスメントの視点と留意点	
15:50~16:00	<u>グループディスカッション</u> 質疑応答・講習の振り返り	
16:00~16:10	閉会	

1. 受講者数によっては講師の人数を変更する場合があります。
2. 講義の時間割等に変更が生じる場合があります。

令和8年度 介護職員技術向上講習会（基礎コース） カリキュラム

第5回「清潔保持の支援技術」

7月14日（火）

清潔保持は、生理的に意義のある行為としてだけでなく、心身のあらゆる面に影響を及ぼす行為。精神的な効果以外にも様々な効果が期待できる。安全でさらに効果的な身体の疲労や転倒けがのリスク管理を行い安全で快適な清潔保持ができる。入浴・清潔保持の介助技術により利用者は、疾病予防、意欲の向上、社会参加が促進する技術に繋がることを目指します。

時間	内容	講師
9:30~10:00	受付	<介護実技普及指導員> 山 村 千代美 氏 伊 東 丈 気 氏 市 川 琴 子 氏 橋 本 直 人 氏 ※実技演習は、受講生を数班に分けて、各項目の技術点検と実技指導を行います。 （講習時間：5時間）
10:00~10:10	開会 オリエンテーション	
10:10~10:40	<u>グループディスカッション</u> ○入浴支援の場面で意識して支援していること	
10:40~12:00	<u>講義「清潔保持」</u> ○入浴・清潔に関連したところとからだのしくみ ・皮膚のはたらきと構造 ・褥瘡予防について ・アセスメントの重要性 ○ウォッシュクロスの適切な使用	
12:00~12:50	昼食休憩	
12:50~15:50	<u>講義・演習「清潔保持」</u> ○入浴、清潔の支援技術演習 ・個浴槽を使用した支援技術 ・清拭について演習体験（部分清拭） ・足浴について ・洗髪について	
15:50~16:00	<u>グループディスカッション</u> 質疑応答・講習の振り返り	
16:00~16:10	閉会	

1. 受講者数によっては講師の人数を変更する場合があります。
2. 講義の時間割等に変更が生じる場合があります。

第6回「排泄の支援技術」

7月15日（水）

利用者の尊厳を遵守した排泄介助の留意点を習得する。心身の状態や状況に応じた排泄道具の種類や使用方法を活かす。排泄に関わる生理学的根拠を基にした適切な介助により、心身機能の維持向上ができる。生命維持だけでなく社会面、精神面において羞恥心に配慮した技術により、利用者の自尊感情を高める支援技術を目指します。

時間	内容	講師
9:30~10:00	受付	<介護実技普及指導員> 田中加代氏 菅野英明氏 塚野謙治氏 伊東丈気氏 ※実技演習は、受講生を数班に分けて、各項目の技術点検と実技指導を行います。 （講習時間：5時間）
10:00~10:10	開会 オリエンテーション	
10:10~10:40	<u>グループワーク</u> ○排泄支援の場の観察と工夫	
10:40~12:30	<u>講義「排泄」</u> ○排泄に関連したところとからだのしくみ ・排泄のメカニズムと姿勢 ・男性、女性の違い ・アセスメントの重要性 ○オムツ・パットの理解と取り扱い方 ・アセスメントに応じた選択 ・種類と適切な取り扱い方	
12:30~13:20	昼食休憩	
13:20~15:50	<u>演習「排泄」</u> ○排泄の支援技術演習（グループワーク） ・姿勢の確認 ・座位での排泄支援技術（一部介助） ・オムツ交換（全介助） ・デモンストレーション	
15:50~16:00	<u>グループディスカッション</u> 質疑応答・講習の振り返り	
16:00~16:10	修了証交付 閉会	

1. 受講者数によっては講師の人数を変更する場合があります。
2. 講義の時間割等に変更が生じる場合があります。

令和8年度 介護職員技術向上講習会 [実践コース] 開催要項

テーマ「利用者の安心・安全な生活を支える根拠に基づく介護技術の実践」

今年度から、より体系的及び段階的に介護技術の習得を図るため、本講習会をリニューアルし、基礎コース、実践コース、指導者コースの3講習を実施することになりました。知識や技術を深めるだけでなく、介護職員としてステップアップできる機会となるようカリキュラムを組んでいます。実践コースは、基礎で得られた知識と根拠を基に現場に直結する体系研修です。詳しくは別添資料をご覧ください。

1 目的

基礎研修で学んだ介護に関する基礎的知識及び基本技術を基盤として、より実践的な生活支援技術の展開力を高めることを目的とする。具体的には、事例検討を中心に利用者の生活状況や身体状況を踏まえながら、介護職員として「考え」「判断し」「実践する」力を養い、現場における介護技術の向上を図ります。

また、介護を受ける利用者との介護を行う介護者双方にとって、安全で安心できるとともに、身体的負担の少ない介護の実現を目指し、生活支援技術の理解と実践力の深化を図ることを目的として実施します。

2 主催

愛媛県社会福祉協議会

3 開催期日

受講回	内容	期日	講習時間
第1回	移動の支援技術①	7月25日(土)	各5時間
第2回	移動の支援技術②	7月26日(日)	
第3回	睡眠・身じたくの支援技術	8月10日(月)	
第4回	食事・口腔ケアの支援技術	8月11日(火)	
第5回	清潔保持の支援技術	8月25日(火)	
第6回	排泄の支援技術	8月26日(水)	

4 日程・内容

「実践コース」は、第1回から第6回までを1つのシリーズとして段階的に進めていきます。「基礎コース」で身に付けた介護技術を基に知識と根拠を踏まえたアセスメントを用いながら事例演習に取り組みます。より実践的に技術を習得し、現場で活かせる実践力に繋がる深化と積み上げとなっています。

※詳細は、別添「カリキュラム」を参照。

5 会場

愛媛県総合社会福祉会館 3階「研修室」(松山市持田町三丁目8番15号)

6 受講対象

介護技術向上講習会 [基礎コース] 全6回を終了された方

※令和5年～令和7年に介護職員技術向上講習会の全6回を修了している方

7 定員

各回32名(先着順)

※定員になり次第、受付終了。詳しくは愛媛県社会福祉協議会ホームページでご確認ください。

8 受講料

27,000円(税込)

全6回分を一括払いとし、入金後の返金は一切できません。

9 テキスト

1冊1,500円(消費税込)

※本研修では「介護実技指導の手引～利用者のための生活支援技術～(令和2年3月改訂)」(発行:愛媛県社会福祉協議会/編集:愛媛県介護実習・普及センター)を使用し、教本に基づいた内容で学習を進めます。お持ちでない方は、ご購入いただくとより理解しやすくなりますので、参加申込みとあわせて購入ください。(既にお持ちの方は新たに購入する必要はありません)。購入されたテキストは、講習会当日にお渡しします。なお、平成28年5月改訂版でも受講は可能ですが、内容がより整理された最新版への買い換えを推奨します。

10 申込方法

スマートフォンからは、右のQRコードを読み込んで、申込みをしてください。
パソコンからは、本会ホームページから申込みをしてください。申込みには、メールアドレスの登録が必要です。

【申込みフォーム】



11 申込締切

令和8年5月22日(金)【先着順】

12 受講決定通知

令和8年5月29日(金) ※郵送にて発送予定

13 受講料等の振込み

- (1) 受講決定通知に同封する振込依頼票をご利用の上、令和8年6月19日(金)までに受講料をお振込みください。同依頼票を利用して県内伊予銀行窓口からお振込みいただくと、手数料はかかりません。
- (2) ATMから振込まれる場合は、処理の都合上、必ず振込依頼票に記載された「振込番号+氏名」でお振込みください。
- (3) 受講をキャンセルされる場合は、令和8年6月19日(金)までに下記問合せ先にご連絡ください。期日までに入金を確認できない場合、キャンセルとみなして申込みを取消すことがありますので、ご注意ください。
- (4) 一旦入金された受講料の返金はできません。あらかじめご了承ください。

14 昼 食

各自でご用意ください。会場の喫茶店での事前注文も可能です。受講決定時にご案内します。

15 感染症等拡大防止策について

本講習会は、重症化リスクの高い高齢者と接する機会が多い受講者が多数参加しますので、ご自身の体調管理を含めて、感染症対策にご協力をお願いします。

16 その他

- (1) 本講習会は実技講習ですので、当日はジャージ等の動きやすい服装・靴(ジーンズ・サンダル不可)で、必ず靴下を着用してお越しください。
- (2) 全日程を受講された方には、愛媛県社会福祉協議会長名の修了証を交付します。ただし、この修了証は、任用資格等につながる「公的証明書」ではありません。
- (3) 愛媛県総合社会福祉会館地下駐車場は朝8時から利用できます。8時前に来られた方は、東側・南側駐車場を利用してください。同駐車場を利用する場合は、近隣住民の迷惑となるため、駐車場内でのアイドリングは絶対におやめください。
- (4) 通勤・通学・通行の妨げになりますので、愛媛県総合社会福祉会館正面玄関及び地下駐車場出入口付近、周辺道路への駐停車は厳禁です。地下及び東側・南側駐車場が満車の場合は、近隣の有料駐車場をご利用ください。
- (5) 会場の駐車場には限りがありますので、できるかぎり公共交通機関をご利用ください。

17 個人情報の取扱いについて

受講申込書にご記入いただいた個人情報は、本講習会の運営目的にのみ利用し、講習会の受講者名簿に、氏名・所属・職名を掲載します。

18 問合せ・申込み

愛媛県社会福祉協議会 福祉人材部 長寿推進課 担当:野口・河野・渡邊
〒790-8553 松山市持田町三丁目8番15号
TEL 089-921-5140 / FAX 089-921-3398
Eメール chouju@ehime-shakyo.or.jp

令和8年度 介護職員技術向上講習会 [実践コース] カリキュラム

第1回「移動の支援技術①」

7月25日(土)

ICFを活用したアセスメントの重要性を理解し、事例を通して利用者一人ひとりに適した移動支援技術を学びます。ICFの視点を用いて多面的に評価し、その結果に基づいて支援方法を検討できる力を身に付けます。

時間	内容	講師
9:30~10:00	受付	<介護実技普及指導員> 成川 ゆかり 氏 山村 千代美 氏 浅田 栄次 氏 坂本 絵美 氏 ※実技演習は、受講生を数班に分けて、各項目の技術点検と実技指導を行います。 (講習時間：5時間)
10:00~10:10	開会 オリエンテーション	
10:10~10:15	講習会の目的、介護の仕事について	
10:15~10:45	グループディスカッション ○現場での移動について、アセスメントや支援で困っていること、気が付いたこと	
10:45~12:30	講義・演習 ○介護技術におけるアセスメントについて ・ICFを活用したアセスメントの視点 ○姿勢と動きの理解(基礎復習) ・利用者と介助者双方にとって安全・安心な技術の重要性の理解	
12:30~13:20	昼食休憩	
13:20~15:50	講義・デモンストレーション・演習 ○姿勢を整える目的の理解 ・体の安定と動きを出すために必要な技術の理解 ○日常生活・活動支援のための姿勢管理の理解 ○事例検討「アセスメント」 グループごとに実施 ・起居、移動	
15:50~16:00	グループディスカッション 質疑応答・講習の振り返り	
16:00~16:10	閉会	

1. 受講者数によっては講師の人数を変更する場合があります。
2. 講義の時間割等に変更が生じる場合があります。

令和8年度 介護職員技術向上講習会（実践コース） カリキュラム

第2回「移動の支援技術②」

7月26日（日）

ICF を活用したアセスメントの重要性を理解し、事例を通して利用者一人ひとりに適した移動支援技術を学びます。ICF の視点を用いて多面的に評価し、その結果に基づいて支援方法を検討できる力を身に付けます。

時 間	内 容	講 師
9:30~10:00	受付	<介護実技普及指導員> 成 川 ゆかり 氏 山 村 千代美 氏 浅 田 栄 次 氏 坂 本 絵 美 氏 ※実技演習は、受講生を数 班に分けて、各項目の技 術点検と実技指導を行いま す。 （講習時間：5時間）
10:00~10:10	開会 オリエンテーション	
10:10~10:40	グループディスカッション ○現場での移動について、アセスメントや支援で困っていること、気が付いたこと	
10:40~12:30	講義・演習 ○移動の支援技術の確認 ○福祉用具の理解と適切な使用方法 ○事例検討 「アセスメント」グループごとに実施 ・起居・移動	
12:30~13:20	昼食休憩	
13:20~15:50	講義・デモンストレーション・演習 ○事例検討（前半続き） ・起居・移動 ○ポジショニング理解 ・利用者の動きを生み出すポジショニング 技術の理解と実践 ・臥位姿勢におけるポジショニング ・座位姿勢におけるシーティング ・車いすの合わせ方	
15:50~16:00	グループディスカッション 質疑応答・講習の振り返り	
16:00~16:10	閉会	

1. 受講者数によっては講師の人数を変更する場合があります。
2. 講義の時間割等に変更が生じる場合があります。

第3回「睡眠・身じたくの支援技術」

8月10日（月）

時間	内容	講師
9:30~10:00	受付	<介護実技普及指導員> 伊藤 晃子 氏 田中 加代 氏 高村 幸子 氏 浅田 栄次 氏 ※実技演習は、受講生を数班に分けて、各項目の技術点検と実技指導を行います。 （講習時間：5時間）
10:00~10:10	開会 オリエンテーション	
10:10~10:40	<u>グループディスカッション</u> ○睡眠・身じたくの支援について	
10:40~11:40	<u>講義「睡眠」</u> ○睡眠に影響を及ぼす心身の機能について（基礎復習） ・安眠のための支援技術 ・環境調整について ○睡眠の支援に関するアセスメントの視点	
11:40~12:30	<u>講義「身じたく」</u> ○身じたくが生活に及ぼす影響について（基礎復習） ・利用者の特性に応じた衣服の着脱について ○身じたくの支援に関するアセスメントの視点 ○事例検討 ○事例に関する ICF から支援内容の検討 グループで実施	
12:30~13:20	昼食休憩	
13:20~15:50	<u>睡眠、身じたくの支援技術演習、デモンストレーション</u> ○事例検討（グループで実施） ・ベッドメイキングと環境調整の理解と実践 ・整容の支援について実践 ・座位・臥位での衣服の着脱支援の実践 ・基本的手順と留意点の実践 ・プライバシーの配慮に関わる実践 ・自立支援に向けた実践 ○福祉用具を利用した睡眠・身じたくの支援の実践 ・シートを利用した着脱（弾性ストッキング） ・マットレスに応じた環境の調整	
15:50~16:00	<u>グループディスカッション</u> 質疑応答・講習の振り返り	
16:00~16:10	閉会	

1. 受講者数によっては講師の人数を変更する場合があります。
2. 講義の時間割等に変更が生じる場合があります。

第4回「食事・口腔ケアの支援技術」

8月11日（火）

時間	内容	講師
9:30~10:00	受付	<介護実技普及指導員> 伊藤 晃子 氏 永井 昌江 氏 森川 剛 氏 鎌倉 銀平 氏 ※実技演習は、受講生を数班に分けて、各項目の技術点検と実技指導を行います。 （講習時間：5時間）
10:00~10:10	開会 オリエンテーション	
10:10~10:40	<u>グループディスカッション</u> ○食事口腔ケアの支援技術について	
10:40~11:40	<u>講義「食事・口腔ケア」</u> ○食事に関連したところとからだのしくみ(基礎復習) ・食べる仕組みについて ・食事支援の為の姿勢の理解と実践 ・心身機能に影響を及ぼす食事の工夫と実践 ○口腔ケアに関連したところとからだのしくみ ・口腔ケアと安全な姿勢 ・口腔ケアの注意点について	
11:40~12:30	<u>事例検討「食事・口腔ケア」</u> ○事例検討（グループで実践） ・事例に関するICFから支援内容の検討 ・食事、口腔ケアに関するアセスメントの視点と留意点	
12:30~13:20	昼食休憩	
13:20~15:50	<u>食事、口腔ケアの支援技術演習、デモンストレーション</u> ○事例検討 ・自分で食べる支援 ・食事を介助する技術 ・食事から口腔ケアまでの実践 ・適切な姿勢の選択と環境調整 ・食具の適切な使用 ・口腔ケアの技術の実践 ・自立支援に向けた実践 ○食事形態と姿勢について	
15:50~16:00	<u>グループディスカッション</u> 質疑応答・講習の振り返り	
16:00~16:10	閉会	

1. 受講者数によっては講師の人数を変更する場合があります。
2. 講義の時間割等に変更が生じる場合があります。

令和8年度 介護職員技術向上講習会（実践コース） カリキュラム

第5回「清潔保持の支援技術」

8月25日（火）

時間	内容	講師
9:30~10:00	受付	<介護実技普及指導員> 山 村 千代美 氏 西 村 美 雪 氏 市 川 琴 子 氏 橋 本 直 人 氏 ※実技演習は、受講生を数班に分けて、各項目の技術点検と実技指導を行います。 （講習時間：5時間）
10:00~10:10	開会 オリエンテーション	
10:10~10:40	<u>グループワーク</u> ○清潔保持の支援技術について	
10:40~12:00	<u>講義・演習「清潔保持」</u> ○入浴・清潔に関連したところとからだのしくみ(基礎復習) ・入浴がもたらす効果 ・体を洗う技術について(体・あたま) ・入浴にかかわる環境調整について ○入浴に関わる福祉用具の利用の実践 ○ADLに応じた入浴方法 ○事例検討（グループで実践） ・事例に関するICFから支援内容の検討 ・食事、口腔ケアに関するアセスメントの視点と留意点	
12:00~12:50	昼食休憩	
12:50~15:50	<u>事例検討「清潔保持」</u> （グループで実践） ○事例検討 ・安全安楽な入浴介助の技術 ・部分浴介助の技術の実践 ・清拭技術の実践(顔・身体) ・自立支援に向けた実践 ○入浴設備の違いによる支援技術 ・道具・用具の種類 ・入浴設備(浴室・浴槽)の視点と活用	
15:50~16:00	<u>グループディスカッション</u> 質疑応答・講習の振り返り	
16:00~16:10	閉会	

1. 受講者数によっては講師の人数を変更する場合があります。
2. 講義の時間割等に変更が生じる場合があります。

第6回「排泄の支援技術」

8月26日（水）

時間	内容	講師
9:30~10:00	受付	<介護実技普及指導員> 田中加代氏 菊池三生氏 塚野謙治氏 伊東丈気氏 ※実技演習は、受講生を数班に分けて、各項目の技術点検と実技指導を行います。 （講習時間：5時間）
10:00~10:10	開会 オリエンテーション	
10:10~10:40	<u>グループワーク</u> ○排泄の支援技術について	
10:40~12:30	<u>講義「排泄」</u> ○排泄に関連したところとからだのしくみ(基礎復習) ・排泄における自立支援 ・排泄行為に伴う問題について ○紙オムツ・パットの特徴と選択の視点 ○事例検討（グループで実践） ・事例に関するICFから支援内容の検討 ・排泄の支援に関するアセスメントの視点と留意点	
12:30~13:20	昼食休憩	
13:20~15:50	<u>事例検討「排泄」</u> ○事例検討 ・姿勢の確認と環境調整の実践 ・ポータブルトイレを使用する際の排泄支援の実践 ・ベッド上でのオムツ交換の実践 ・自立支援に向けた実践 ○排泄支援に関わる福祉用具の理解と使用方法の技術	
15:50~16:00	<u>グループディスカッション</u> 質疑応答・講習の振り返り	
16:00~16:10	修了証交付 閉会	

1. 受講者数によっては講師の人数を変更する場合があります。
2. 講義の時間割等に変更が生じる場合があります。

令和8年度 介護職員技術向上講習会〔指導者コース〕 (介護員養成研修等指導委員講習会) 開 催 要 項

1 目 的

生活支援を行うための基本的知識をふまえた介護技術の指導方法に関する研修及び検定を実施し、愛媛県社会福祉協議会が行う介護技術向上のための講習会や、県下事業所・地域で介護実技普及に携わる指導者を養成することを目的とします。

2 主 催

愛媛県介護実習・普及センター（指定管理者：社会福祉法人愛媛県社会福祉協議会）

3 期 日

区分	内容	日数	実施日
研修	介護実技の指導方法に関する研修	5日間	令和8年 9月8日(火)・9月9日(水)・10月31日(土) 11月1日(日)・11月24日(火)
検定	研修後に、研修内容の成果等を確認	1日間	令和8年11月25日(水)

※検定に合格した方には、介護実技指導者の養成・普及を図るために愛媛県社会福祉協議会が設置した「介護実技普及指導員」の認定証を交付します。また、本人及び所属事業所の同意を得て本会ホームページ等に氏名を公表し、県内各所における指導者として、介護技術の普及活動にご協力いただきます。

4 カリキュラム

別添「令和8年度 介護員養成研修等指導員講習会カリキュラム」のとおり

5 会 場

愛媛県総合社会福祉会館3階「介護実習室」（松山市持田町三丁目8番15号）

6 受講対象

以下のいずれかに該当し、かつ各所属長が推薦した方

研修	【受講資格1】	介護福祉士、看護師、理学療法士、作業療法士等の資格取得後、介護施設・事業所での介護・医療等の実務経験が3年以上あり、かつ、本会が開催する介護職員技術向上講習会「基礎コース」、「実践コース」の全12回を修了している方 ※ 令和5年～令和7年に介護職員技術向上講習会の全6回を修了した方
	【受講資格2】	愛媛県社会福祉協議会が行うノーリフティングケア普及啓発事業を実施した事業所の従事者で、介護実技普及指導員が推薦した方
検定	本研修の全日程（5日間）を修了した全受講者 ※ 令和5年～7年に検定を受けられた方（検定だけの再受験も可能です）	

※以前に受講された方も再受講可能です。

7 定 員

18名程度

8 受講料等

- (1) 受講料 3,500円（全受講者共通）
- (2) テキスト代 1,500円（税込）
- (3) 検定料 無料

※テキストは愛媛県社会福祉協議会発行の「介護実技指導の手引き（令和2年3月改訂版）」を使用します。お持ちでない方は、受講申込書にてお申込みください。購入希望の方には、入金確認後に送付します。

9 申込方法

(1) 本会ホームページの「研修・講座情報」

「<https://ehime-shakyo.or.jp/2026/04/03/r8shidousha/>」からお申し込みください。

- (2) 本講習会受講は、所属長承認の上でお申し込みください。
- (3) 全日程（5日間）を受講することとし、部分受講は不可とします。
- (4) 全日程を通して、申込書のご本人が受講してください。代理受講や聴講等はできません。



10 申込期間

令和8年8月7日（金）

11 受講決定

- (1) 受講の可否については、令和8年8月14日（金）までに希望された郵送先へ送付します。
- (2) 申込人数が定員を超えた場合は、申込フォームに記載された受講申込理由を参考に選考します。

12 受講料等の支払い

- (1) 受講決定通知に同封する振込依頼票をご利用の上、令和8年8月31日（月）までに受講料をお振込みください。同通知書を利用の上、県内伊予銀行窓口からお振込みいただくと、手数料はかかりません。
- (2) ATMから振込まれる場合は、処理の都合上、必ず振込依頼票に記載された「振込番号+氏名」でお振込みください。
- (3) 受講をキャンセルされる場合は、令和8年8月31日（月）までに下記事務局へご連絡ください。期日までに入金の確認できない場合、キャンセルとみなして申込みを取消すことがありますので、ご注意ください。
- (4) 一旦入金された受講料の返金はできません。あらかじめご了承ください。

13 修了証書の交付

全日程（7日間）を修了した方には、最終日に修了証書を交付します。

14 準備物等

当日は、下記準備物をご持参ください。なお、ジャージ等の動きやすい服装（ジーンズ不可）で、必ず靴下を着用してください。

予防衣（ケアガウン※布製に限る）、介護実技指導の手引き（令和2年3月改訂版）、筆記用具

15 個人情報の取扱について

受講申込書にご記入いただいた個人情報は、本講習会の運営目的にのみ利用することとし、講習会の受講者名簿に、氏名、所属、職名、実務期間等を掲載します。

16 感染症等拡大防止にかかる注意事項

本講習会は、重症化リスクの高い高齢者と接する機会が多い受講者が多く参加しますので、ご自身の体調管理を含めて、感染症対策にご協力をお願いします。

17 その他

- (1) 昼食は各自でご準備ください（ゴミは各自でお持ち帰りください）。
- (2) 愛媛県総合社会福祉会館地下駐車場は朝8時から利用できます。8時前に来られた方は、東側・南側駐車場を利用してください。同駐車場を利用する場合は、近隣住民の迷惑となるため、駐車場内でのアイドリングは絶対におやめください。
- (3) 通勤・通学・通行の妨げになりますので、愛媛県総合社会福祉会館正面玄関及び地下駐車場出入口付近、周辺道路への駐車は厳禁です。地下及び東側・南側駐車場が満車の場合は、近隣の有料駐車場をご利用ください。
- (4) 会場の駐車場には限りがありますので、できるかぎり公共交通機関をご利用ください。

18 事務局

愛媛県介護実習・普及センター

愛媛県社会福祉協議会 福祉人材部 長寿推進課（担当：野口・河野・渡邊）

〒790-8553 松山市持田町三丁目8番15号 愛媛県総合社会福祉会館2階

TEL 089-921-5140 FAX 089-921-3398

Eメール chouju@ehime-shakyo.or.jp

令和8年度 介護職員技術向上講習会〔指導者コース〕
(介護員養成研修等指導委員講習会)
カリキュラム

1 講 習

	実施日	時 間	内 容	講 師
1 日 目	9月8日(火)	8:50~9:00	受付	(愛媛県社会福祉協議会)
		9:00~9:10	オリエンテーション	介護実技普及指導員
		9:10~12:00	講義：生活支援を行うための基本的知識 講義・演習：指導案の作成方法 〔昼食・休憩〕	
		13:00~15:30	基本介護技術見直し「介護者の準備」	
		15:30~16:30	基本介護技術見直し「身じたくの支援技術」	
2 日 目	9月9日(水)	9:30~16:30 ※講義の進捗状況に 応じて適宜休憩	基本介護技術見直し「移動の支援技術」 (姿勢の見方・整え方、ポジショニング含む) 〔昼食・休憩〕 基本介護技術見直し「移動の支援技術」 (福祉用具の活用含む)	介護実技普及認定指導講師
3 日 目	10月31日(土)	9:30~12:00 13:00~16:30	基本介護技術見直し「睡眠の支援技術」 〔昼食・休憩〕 基本介護技術見直し「食事の支援技術」	
4 日 目	11月1日(日)	9:30~12:30 13:30~16:30	基本介護技術見直し「入浴・清潔保持の支援技術」 〔昼食・休憩〕 基本介護技術見直し「排泄の支援技術」	
5 日 目	11月24日(火)	9:30~16:30 ※講義の進捗状況に 応じて適宜休憩	介護実技の指導実習 〔昼食・休憩〕 介護実技の指導実習	

※ 上記予定は変更となる場合がありますので、ご了承ください。

※ 「基本介護技術見直し」は、基本介護技術全般の見直しを全員で行います。

※ 「介護実技の指導実習」は、受講者が与えられた課題の指導実技を行い全員で評価します。

2 検 定

	実施日	時 間	内 容	講 師
	11月25日(水)	9:10~9:30	受付	(愛媛県社会福祉協議会)
		9:30~9:40	オリエンテーション	介護実技普及認定指導講師
		9:40~10:40	筆記検定	
		10:50~12:30	介護実技検定	
		12:30~13:30	〔昼食・休憩〕	
		13:30~16:30	介護実技検定	

※ 「筆記検定」は、受講者が与えられた課題に対して指導案を作成し、講師が評価します。

※ 「介護実技検定」は、受講者が与えられた課題について模擬指導を行い、講師が評価します。

※ 各日程の終了時間・検定の日数は、都合で延長または短縮等変更する場合がありますので、ご了承ください。

令和8年度

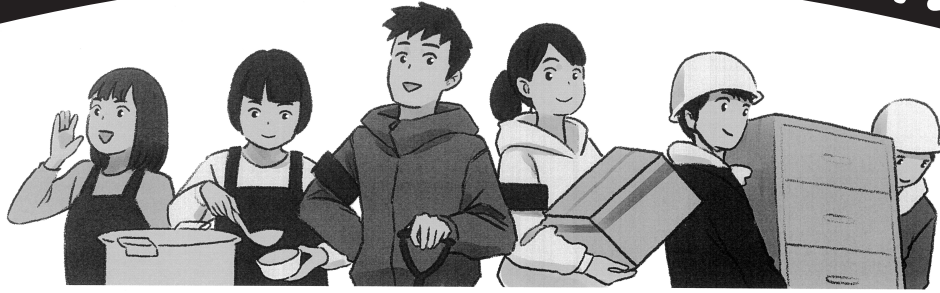
<https://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険



保険金額・年間保険料 (1名あたり) 団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増適用

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円		
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額		6,500円		
	手術保険金	入院中の手術		65,000円	
		外来の手術		32,500円	
	通院保険金日額		4,000円		
賠償責任の補償	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)		
		年間保険料	350円	500円	

商品パンフレットは
コチラから



(ふくしの保険)
ホームページ

<重要>

- ◆ 基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆ 年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆ 中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆ 途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。

ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償 (傷害保険)

福祉サービス総合補償
(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL: 03(3349)5137

受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03(3581)4667

受付時間: 平日の9:30~17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

令和8年度版

社会福祉法人等が経営、運営する
福祉施設・事業の賠償・傷害事故と、
法人の経営にともなうリスクを
幅広く補償します。



しせつの損害補償

「しせつの損害補償」に新たな加入方式「法人包括プラン」ができました。従来の「しせつの損害補償（施設単位加入）」と「法人包括プラン（法人包括加入）」のいずれかを選択・加入できます。

法人包括プラン NEW

「法人包括プラン」は、福祉施設・事業を経営・運営する社会福祉法人が加入対象です。（社会福祉協議会を除く）



- ポイント1 **安心** 福祉施設（事業）の明細要らずで、全ての福祉施設・事業を賠償事故からまとめて補償
- ポイント2 **便利** 期中で新たに始めた福祉施設（事業）も手続き不要で自動補償
- ポイント3 **簡単** 契約時は全ての入所型・通所型施設の合計定員数の申告のみ（保育所は別途加入）

しせつの損害補償 (従来の加入方式)

従来のしせつの損害補償は、社会福祉法人、社会福祉協議会、公立福祉施設（自治体）、NPO法人、公益社団法人、公益財団法人が加入対象です。

「法人包括プラン」・「しせつの損害補償（従来の加入方式）」ともプラン1～4は、共通内容です。

- プラン1 施設業務の補償
- プラン2 施設利用者の補償
- プラン3 職員等の補償
- プラン4 法人役員等の補償

見積作成・加入手続きは簡単便利なインターネットから!!

PCからの場合は、<https://www.fukushihoken.co.jp/> よりアクセス!!



スマートフォンやタブレットの場合はこちらの二次元コードよりホームページにアクセスしてください。



● このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
〈保険会社〉 TEL：03(3349)5137
受付時間：平日の9:00～17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL：03(3581)4667
受付時間：平日の9:30～17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

(SJ25-11172 より抜粋)

問合せ先（事務局）



「やさしさ」を抱きしめよう



社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会

〒790-8553
松山市持田町三丁目8番15号
愛媛県総合社会福祉会館2階
愛媛県社会福祉協議会 長寿推進課
TEL 089-921-5140 FAX 089-921-3398
Eメール chouju@ehime-shakyo.or.jp
URL <https://ehime-shakyo.or.jp/>

